



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 株式会社 北川鉄工所 上場取引所 東
 コード番号 6317 URL <http://www.kiw.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川 祐治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 安藤 攻 (TEL) 0847-45-4560
 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,499	23.4	625	66.1	490	10.3	264	△44.6
23年3月期第2四半期	17,423	52.4	376	—	445	—	477	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 149百万円(△38.0%) 23年3月期第2四半期 240百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2 76	—
23年3月期第2四半期	4 98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	49,201	20,395	41.4
23年3月期	48,293	20,439	42.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 20,356百万円 23年3月期 20,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	2 00	2 00
24年3月期	—	0 00			
24年3月期(予想)			—	2 00	2 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	14.1	1,500	35.4	1,500	11.7	1,000	△49.5	10 45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	96,508,030株	23年3月期	96,508,030株
24年3月期2Q	834,202株	23年3月期	823,964株
24年3月期2Q	95,677,364株	23年3月期2Q	95,790,948株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日）におけるわが国の経済は、東日本大震災の直接的、間接的な影響により企業活動が停滞せざるをえない状況に陥る等の深刻な影響が出ましたが、被災企業の努力により急速な復旧がはかられ、6月頃から経済全体が持ち直してまいりました。一方で、欧州では、ギリシャの財政問題をはじめ、米国に引続いてイタリア、スペインの国債の信用格付けの引下げ等による信用不安からの円高が長期化し、先行きの不透明感が一層強まってまいりました。

当社の関連業界におきましては、全体の市場が震災から急速な復旧をしてきたものの、国内においては被災地域の復興計画の遅れが見られ、一部業界によっては需要の低迷が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは中国をはじめとする新興国向けの需要が牽引役となり、金属素形材事業、工機事業の売上高、営業利益とも、堅調に推移しましたが、内需中心の産業機械事業、駐車場事業は、コスト改善や生産効率の向上等に取り組み、収益拡大に努めてまいりましたものの依然として厳しい状況となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 21,499百万円（前年同四半期比 23.4%増）、営業利益は 625百万円（前年同四半期比 66.1%増）、経常利益は 490百万円（前年同四半期比 10.3%増）、四半期純利益は 264百万円（前年同四半期比 44.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

金属素形材事業

当事業の主要な事業分野は自動車、建設機械、農業機械の3分野となります。自動車事業分野では今年3月の東日本大震災の影響で第1四半期は大幅な受注減となりましたが、6月から自動車業界顧客の震災復興および部品調達の目途が立ち、7月以降は前年同期と同程度の水準まで回復いたしました。特に自動車ミッション部品におきましては海外向けが好調に推移しており、当社の主要顧客からの受注も高水準で推移しております。

建設機械分野につきましては、受注が回復し、中国をはじめとする新興国需要も継続しております。また、建設機械用エンジンの排ガス規制（Tier3）エンジンの駆込み需要もあり前年同期を越える水準の受注を確保いたしました。

農業機械分野につきましては、国内の需要は見込めませんが、アジア市場、特に中国や東南アジアの市場が堅調に推移しております。

一方で、国内需要は依然として減少傾向であり、加えて、円高による価格競争の激化、顧客の海外調達増加や海外生産移管等、今後の収益面、受注面での懸念を抱えております。

このような状況のなか、当事業におきましては、顧客からの受注要求に応えられるよう生産体制を整え、生産性の改善を進め、受注拡大への対応を推し進めるとともに価格競争力の向上に努めてまいりました。また、既存顧客のインシエア拡大、新規顧客の獲得等により受注拡大に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は 9,171百万円（前年同四半期比 11.8%増）、営業利益 597百万円（前年同四半期比 25.5%増）となりました。

工機事業

社団法人日本工作機械工業会の発表によりますと9月の工作機械の受注額は1,107億円となり、今年1月からの累計でも前年同期に比べ41.9%増と昨年を大きく上回った状況で推移しました。

当事業におきましても工作機械業界の順調な受注により、販売が好調に増加しました。また、アジアを中心とした海外からの受注が伸び、海外比率が大きく上昇しました。特に海外向けにおいてはIT産業や海外シフトの進む自動車産業の設備投資により、大型案件の受注が増加しつつあります。しかしながら国外・国内工作機械メーカーにあつては、新興国向けにローコスト機を中心とした販売を顕著に増やしていることから、価格的にも市場競争がますます激化しております。

このような状況のなか、当事業におきましては、海外市場及び自動車関連ユーザーへの拡販を強化し、お客様からの短納期要求へ積極的に対応しました結果、売上げは順調に推移しました。

また、長引く円高と新興国への販売が伸びていることによる販売価格の低下とともに大型案件受注に対応する生産増強の必要性から、更なるコスト改善と生産能力の強化をはかるとともに生産効率の向上に取り組み、売上高と利益を向上させる諸施策を実行してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は5,147百万円（前年同四半期比51.5%増）、営業利益660百万円（前年同四半期比130.2%増）となりました。

産業機械事業

東日本大震災後の供給面における制約もほぼ解消し、国内建設業界では、住宅着工戸数が4月以降連続して前年同月比を上回り、持ち直しの動きが見られるものの、雇用情勢、所得の回復遅れによる民間設備需要の低迷が続いており、業界全体が依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況のなか、当事業におきましては、コンクリートプラント関連につきましては、メンテナンス工事中心に取り組み、設備の一部改造等と合わせて売上高を確保しました。

環境関連につきましては、焼却灰処理を中心に製紙業界等に営業を展開しましたが下期に物件が偏り、売上が順延となりました。

荷役機械関連につきましては、小型ビル建設用クレーンの市況回復に、今後期待がもたれますが、依然として厳しい状況が続いております。大型ビル建設用クレーンにつきましては、病院建設や都市圏再開発が継続し、引続き好調に推移しました。

また、今期から超高压の水で切断加工を行うウォーターカッターと非鉄、樹脂等の軽切削を行うライトマシニングをラインナップに加え、他の製品とともに販売を強化してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は3,536百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益301百万円（前年同四半期期比30.0%減）となりました。

駐車場事業

当事業が属する建設業界におきましては、民間住宅投資に一部回復の兆しが見られたものの、民間企業の設備投資は低迷が続き、公共投資についても震災によるインフラ復旧工事は見込まれますが、それ以外の公共投資は引続き低調に推移するものと予想されます。

当事業を取巻く環境も年々厳しさを増しており、同業他社との熾烈な価格競争が続いております。

このような状況のなか、安全管理の強化を基本として事業本部管理体制の構築、発注までのリードタイムを意識した受注活動、施主からの直接受注の推進、経費削減に取り組んでまいりました。

また、ショッピングセンターやアミューズメント施設の大型案件を取込む事により売上高の確保に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は 3,642百万円(前年同四半期比 51.7%増)、営業利益 86百万円(前年同四半期比 54.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ 908百万円増加し、49,201百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ 952百万円増加し、28,806百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ 43百万円減少し、20,395百万円となりました。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は 20,356百万円となり、自己資本比率は 41.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、997百万円の収入となりました。収入の主な内訳は、減価償却費 992百万円、税金等調整前四半期純利益 481百万円及び仕入債務の増加額 460百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額 1,406百万円であります。前年同四半期比では、主にたな卸資産の増減額の影響により 293百万円の収入増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、974百万円の支出となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出 959百万円であります。前年同四半期比では、主に有形固定資産の取得による支出により 278百万円の支出増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、725百万円の支出となりました。これは、主に借入金の純減少額 502百万円及び配当金の支払額 191百万円であります。前年同四半期比では、主に配当金の支払額と借入金の純増減額により 669百万円の支出増となりました。

これらにより当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 709百万円減少し、10,066百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,872	10,168
受取手形及び売掛金	12,898	14,288
商品及び製品	2,382	2,226
仕掛品	2,223	2,237
原材料及び貯蔵品	933	956
その他	1,035	795
貸倒引当金	△25	△36
流動資産合計	30,320	30,636
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,326	6,425
その他(純額)	7,884	8,274
有形固定資産合計	14,211	14,699
無形固定資産	289	347
投資その他の資産		
その他	3,631	3,648
貸倒引当金	△160	△130
投資その他の資産合計	3,471	3,518
固定資産合計	17,972	18,565
資産合計	48,293	49,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,944	8,395
短期借入金	4,212	4,169
1年内返済予定の長期借入金	2,194	2,194
未払法人税等	120	87
賞与引当金	361	392
その他	1,997	2,710
流動負債合計	16,831	17,949
固定負債		
長期借入金	6,744	6,285
退職給付引当金	2,913	3,140
環境対策引当金	971	971
その他	393	459
固定負債合計	11,022	10,856
負債合計	27,853	28,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	5,089	5,089
利益剰余金	6,625	6,698
自己株式	△139	△141
株主資本合計	20,215	20,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333	277
為替換算調整勘定	△159	△207
その他の包括利益累計額合計	173	69
少数株主持分	49	38
純資産合計	20,439	20,395
負債純資産合計	48,293	49,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	17,423	21,499
売上原価	14,646	18,229
売上総利益	2,777	3,269
販売費及び一般管理費	2,400	2,643
営業利益	376	625
営業外収益		
受取利息	17	25
受取配当金	14	18
持分法による投資利益	—	21
スクラップ売却益	33	39
受取補償金	63	4
その他	78	60
営業外収益合計	207	170
営業外費用		
支払利息	72	67
持分法による投資損失	18	—
為替差損	31	222
その他	17	14
営業外費用合計	139	305
経常利益	445	490
特別利益		
固定資産売却益	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
固定資産除却損	—	16
投資有価証券評価損	38	3
特別損失合計	38	20
税金等調整前四半期純利益	406	481
法人税、住民税及び事業税	50	62
法人税等調整額	△112	166
法人税等合計	△61	228
少数株主損益調整前四半期純利益	468	253
少数株主損失(△)	△8	△10
四半期純利益	477	264

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	468	253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193	△56
為替換算調整勘定	△25	△49
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	0
その他の包括利益合計	△228	△104
四半期包括利益	240	149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248	159
少数株主に係る四半期包括利益	△8	△10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	406	481
減価償却費	1,047	992
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	△17
賞与引当金の増減額(△は減少)	20	30
退職給付引当金の増減額(△は減少)	244	228
受取利息及び受取配当金	△32	△44
支払利息	72	67
持分法による投資損益(△は益)	18	△21
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△11
有形固定資産除却損	—	16
投資有価証券評価損益(△は益)	38	3
売上債権の増減額(△は増加)	△1,085	△1,406
たな卸資産の増減額(△は増加)	△334	109
仕入債務の増減額(△は減少)	495	460
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12	△5
その他	△42	230
小計	822	1,114
利息及び配当金の受取額	30	37
利息の支払額	△90	△67
法人税等の支払額	△57	△87
営業活動によるキャッシュ・フロー	703	997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△631	△959
投資有価証券の取得による支出	△27	△2
貸付けによる支出	△3	△1
貸付金の回収による収入	36	22
その他	△70	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△696	△974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,260	△43
長期借入れによる収入	5,200	—
長期借入金の返済による支出	△3,976	△459
配当金の支払額	—	△191
その他	△19	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56	△725
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△46	△709
現金及び現金同等物の期首残高	10,032	10,775
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,986	10,066

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	金属素形材 事業	工機 事業	産業機械 事業	駐車場 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	8,205	3,397	3,419	2,400	17,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	59	1	—	115
計	8,259	3,457	3,421	2,400	17,538
セグメント利益	475	286	430	190	1,383

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,383
全社費用(注)	△1,007
四半期連結損益計算書の営業利益	376

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	金属素形材 事業	工機 事業	産業機械 事業	駐車場 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	9,171	5,147	3,536	3,642	21,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70	88	0	—	159
計	9,242	5,236	3,537	3,642	21,658
セグメント利益	597	660	301	86	1,645

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,645
全社費用(注)	△1,020
四半期連結損益計算書の営業利益	625

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。